

日本鐵鋼協會記事

昭和 26 年度第 3 回理事會 日時：26—5—9 (水) 16 時 30 分～19 時。會場：協會會議室，出席者：(會長) 田中清治，(理事) 石原善雄，太田慶藏，佐藤忠雄，田畑新太郎，(前會長) 俵 國一，吉川 晴十，山岡 武，(監事) 菊田多利男(常務委員) 芥川 武，伊木常世，石田 稔，菊池浩介，西村吉太郎，俵 信次，柳 武(研究部會委員長) 殿村秀雄(特別出席) 奥村 享(主事) 金谷三松

報告事項：1. 昭和 26 年度第 2 回編集員會 日時：26—4—24 (火) 16 時 30 分～20 時。會場：協會會議室。出席者：(常務委員) 芥川武君，菊池浩介君，俵 信次君。(編集委員) 内山道良君，野村純一君，長谷川正義君，濱本甲子生君，松下幸雄君，三橋鐵太郎君，安田洋一君，山木正義君，吉田道一君。(主事) 金谷三松

報告：(1) 昭和 26 年 3 月號は諸般の事情により遅れて 4 月 20 日竣成發送済。(2) 昭和 26 年 4 月號は 4 月末日竣成の豫定。協議：(1) 昭和 26 年 7 月號原稿選定の件。(2) 各工場の記事依頼の件，決定。編集委員にて考慮し會誌の餘白を埋める程度にて掲載のこと。(3) 寄稿論説の圖表中不釣合の文字，點等を無くするため採るべき方法の件，決定。本件は 5 月 9 日の第 3 回理事會にて多少費用を要しても原稿を書き直すことに承認。(4) G.H.Q 提供資料掲載可否の件，決定。掲載のこととす。2. 圖書室を家主陽和不動産 K.K. へ返却せざることに回答し承諾済。3. 會員名簿及鋼の熱處理と作業標準發行狀況の件，承認。

協議事項：1. 今秋名古屋に於ける第 42 回講演大會の件。(a.) 期日 10 月 13 日(土)，14 日(日)，15 日(月) 三日間。土。日。講演。月。見學。(b.) 會場 名古屋工業大學。(c.) 旅館世話。(d.) 晚餐會を 14 日の夕に實施。(e.) 總豫算。(f.) 實行委員長に末廣幸次郎君を依頼のこと。(g.) 第 1 回實行委員相談會は 5 月末又は 6 月上旬實施のこと。(h.) 金屬學會と連合の金屬の組織寫眞展覽會を開くこと，決定。(a) より (g) 迄は東海支部長の原案通り承認。(b) 項は來春講演大會のときより合同開催のこととし秋季大會には加入せざることに。2. 米國金屬學會主催の國際冶金會議へ本邦よりの參加者斡旋の件，決定。參加人名原案通り決定近く東京へ案内して打合會を開催のこと。3. 故渡邊博士寄贈資金取扱規則の件，決定。寄贈者の御意向で一部字句修正の上決定。4. 昭和 26 年 4 月分收支決算審議の件，承認。5. 入退會者其他會員異動の件，承認，等。

支 部 記 事

東海支部 (26—3—5 報告)

新年度役員決定。(支部長) 松田孜君(桑名)，(理事) 松田孜君，野田一六君(名工大)，岡田俊一君(中日本)，澤本八衛君(名大)，谷口光平君(川崎製)，(評議員) 淺田千秋君(大同)，林達夫君(大同)，井上道雄君(名大) 石原康正君(トヨタ自動車)，木村富士信君(愛鋼)，小林卓郎君(名大)，松田孜君(桑名)，永井直記君(名大)，西 成基君(名大) 錦織清治君(大同) 野田一六君(名工大)，岡田俊一君(中日本)，岡本孝君(矢作製)，小崎正秀君(新扶桑)，澤本八衛君(名大)，關口春次郎君(名大)，關口次郎君(中日本)，谷口光平君(川崎製)，山田史郎君(新扶桑)，渡瀬常吉君(名調)(幹事) 淺田千秋君(大同)，古澤浩一君(名工大)，林伸太郎君(豊田自動織)，畑 榮一君(新扶桑)，井上道雄君(名大) 小林卓郎君(名大)，郡 勇君(大同)，松居菊千代君(中日本)，永井直記君(名大)，西成基君(名大)，樋田章君(愛鋼) 矢野啓次郎君(名大)，吉見良平君(トヨタ自動車)

北陸支部 (26—5—12 報告)

5 月 4 日講演會を富山大學工學部講堂にて開く，尙講演會を始める前に支部總會を開き支部長絹川武良司君より従来の経過報告あり，後支部長の改選が行われ満場一致で富山大學工學部長石原寅次郎君に決定，従つて支部を直江津日本ステンレス株式會社より高岡市古定塚富山大學工學部に移管することとなつた。講演題目及講師次の通り。

(1) 再生銑鐵の研究	富山大學工學部助教授	養田 實君
(2) 砂鐵製鍊について	日本高周波鋼業研究所	大八木要君
(3) アルミ器物の製造に關する研究	富山大學工學部教授	工博 森永卓一君
(4) ステンレスの耐蝕性について	日本ステンレス K.K. 副社長	工博 絹川武良司君
(5) 金屬工業とスペクトル分析について	日曹高岡工場研究課長	工博 小田 伸彬
(6) 伸銅技術についての二三の問題	三越金屬工場長	萩原 博君
(7) 鑄鋼技術の最近の進歩について	新潟鐵工所工場長	工博 齋藤彌平君

(以下 68 頁へ続く)